

「福井県紡績、化学繊維、織物、染色整理業最低賃金」
最低賃金の改正の必要性について

I. 繊維産業

1. 特徴

繊維産業は、衣食住の“衣”として人の生活に寄り添って発展してきた産業でありその土地の文化などとも密接に関わってきました。

特徴のひとつは、特定の地域に生産が集中し産地を形成していることです。石川県、富山県、福井県における北陸地方や、岡山県、広島県にまたがる三備産地など、国内に多くの産地が存在します。繊維産業は多くの中小企業から成り立っていて、そのサプライチェーンは複雑な多段階構造になっています。

国内の繊維産業においては、綿・麻・毛・絹といった天然繊維から化学繊維まで幅広く扱い、特殊な細い糸の開発などを進め、先進的な技術・製品を有しています。デニムやレースなどの様々な製織能力やニットの生産能力、染色整理における繊細さや表現力が優れていると言われてしています。

こうした日本の繊維製品は、海外からも高い評価を得ており、海外ラグジュアリーブランドとの取引が多く行われています。さらに、吸汗速乾、吸湿発熱、抗菌防臭、ストレッチ等の機能を付与した高機能繊維や、高強度、高弾性率、耐衝撃性、耐熱性などの繊維特性を強化した高性能繊維など、日本企業による化学繊維は高い技術を有しています。また、このような日本の繊維産業における技術は、衣料品のみならず、おむつやカーペットなどの衛生・生活資材や、自動車などの産業資材の分野でもいかされています。

2. 国内の市場規模

衣料品等の国内市場規模は、1990年代は主に減少傾向であったものの、2000年代以降、リーマンショックなどの影響はありつつも、基本的には横ばいの状態を維持してきたと言えます。また、低価格商品が人気を集めるとともに、海外からのファストファッション参入などの動きも見られています。最近では、リモートワークが増加などによる生活環境の変化から、カジュアルウェア需要が一層高まるなどの変化も起きています。

3. 生産面の状況

2019年までの10年余りの間、製造品出荷額は横ばいを維持している一方、事業所数は減少してきています。国内の繊維工業における事業所数は、2005年に2万以上であったが、2019年には1万余りとなっており、半分以下にまで減少しています。こう

した状況は全国の繊維産地において進んでおり、共通の課題となっています。

4. 福井県における繊維産業

福井県の繊維産業は、温暖多湿の気候に恵まれ、古代より優美な絹織物の生産が盛んでした。明治以降は、新鋭設備の導入と積極的な技術開発の推進によって、わが国の繊維産地の中で、常に一步を先んじた存在であり続けています。

現在では、高度技術を駆使し、感性・機能性に富んだ製品の開発や、非衣料用分野での高品質素材の開拓、エコロジーに配慮した素材の開発など、福井の繊維産業は、常に時代をリードし新しい可能性に向けて歩み続けています。

II. UAゼンセンの基本的考え方

1. 公正労働基準の確立

労働組合の使命は、公正労働基準としての産業別最低賃金の確立であることを共通認識とし、すべての組織で企業内最低賃金協定を締結し、UAゼンセンとしての産業別最低賃金を確立する。その波及効果として、法廷である特定最低賃金の存続・新設に取り組む。

2. 労使交渉の補完・代替

特定最低賃金は、企業内における賃金水準を設定する際、労使の取り組みを補完し、設定の申請や金額決定に関係労使の参加が求められることから、企業別の「労使交渉を補完・代替」する役割を担っている。

また、産業・業種の公正労働基準の確立のためには、組合のない企業にも同じ基準が適用されなくてはならず、それを可能にする制度として、特定最賃に取り組む。

III. 最後に

繊維産業は、日本の製造業が90年代以降に直面した問題に早くから直面してきました。生産の海外移転が早くから始まり、韓国、台湾そして東南アジアで始まり、90年代には中国での生産が本格化し、それに伴い日本の国内生産は2000年代以降減少、2010年代には中国の安い製造品を前提にしたビジネスモデルが一般化しました。

同様の問題は、造船業や鉄鋼業など、かつて日本が世界をリードした産業でも指摘されています。しかしこれらの産業でも、全てが空洞化するわけではなく、その産業の中で特殊な製品市場分野で現在でも国際的に先導的な競争力を保っている企業もあります。繊維産業でも、独自の技術で、国内生産で国際競争力を持つ企業もあります。また、海外市場に通用するブランド力をつけた企業もみられるようになってきました。

繊維産業を世界的な視点で見ると、その需要は決して減退しているものではなく、むしろ増加傾向にあります。日本の繊維産業も、そういった市場をしっかりと捉えていくためには、優れた技術を発揮できる人材の確保・育成をして産業の発展につなげていく必要があります。

以上



